
The seven deadly sins 1話

おでん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

The seven deadly sins 1話

【Nコード】

N8158P

【作者名】

おでん

【あらすじ】

七つの大罪をメインに作ってみました。

「キャラクター」

坂木幸助 主人公。心配性で、柚にいつも振り回されてる。負けず嫌いで、いつも負けたくない気持ちがある。柚に好意がある。

石川柚 幸助の幼なじみ。変わったことが好きで、いつも幸助を困らせている。幸助を頼りになる幼なじみと思っている。

「1」

「ねえ、七つの大罪って知ってる？」唐突に柚が話しかけてきた。柚は同じ年で幼稚園からお互い知っている仲だ。

「はあ？なんだよそれ。」正直言って、柚は変わっている。去年なんか、オーパーツかなんだかに熱中してた。俺は幽霊とかも信じない。

「七つの大罪ってね、傲慢、嫉妬、憤怒、怠惰、強欲、暴食、色欲で構成された悪魔たちの事を言うんだよ。」

また、これだ。彼女に付き合うといつもこんな感じだ。別に僕は悪魔とかも信じて無いのに・・・

「で、なんで僕に話したの？まさか、その悪魔を召喚するとか言い出さないよね!？」

「え、なんでわかったの？」まさかとは思ったがここまでするとは・・・第一悪魔なんか召喚できるのか・・・？

「じゃじゃ〜ん♪これなんだと思う？」

柚は鞆から真っ黒いタイトルも何もない本を出してきた。

「なんだよこれ、何か気味の悪い本だな。」「実はこれ、黒魔術の本なんだ。これがあれば、七つの大罪の悪魔も呼べるよ〜♪」

なんでこいつはこんなにテーション高いんだ！」「とりあえず、そんな気味の悪いことやめようよ。罰当たるよ、きつと。」

「なんだ、つまらないの。いいもん一人でやるから。幸助は付いて来なくていいよーだ。」

「なっ・・・！」そう言われると僕のプライドが許さない！・・・それに柚も心配だし。

「わかったよ、一緒に行こう。」「さすが幸助、そう来なくちゃ♪」というわけで、とりあえず誰も使っていない教室を使って悪魔を呼ぶことにした。

この時はホントの恐怖が待ってるなんてまだ、僕たちは知らなかった。このときは・・・

2話に続く。

（後書き）

ご覧いただきありがとうございます。次回もよろしかったらご覧
ください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8158p/>

The seven deadly sins 1話

2011年1月3日22時25分発行